

平成30年度保険料率に関する 埼玉支部評議会における意見について

1. 平均保険料率について

- 準備金残高の将来予測を考慮し、全国平均保険料率を9.9%に引き下げるべき。
- 正確な将来予測ができないため、ある程度、準備金を積み立てておこうという考えは理解できるが、単年度収支が基本であること、準備金積立額も限度があるのではないかということ、また貸金水準も下がるような見通しもなく、上がるか現状維持であることを勘案し、現実的に10%から少しでも下げて9.9%にすべきではないか。
- 平成30年度の保険料率については、将来予測が困難であるため、現状維持が妥当と考える。保険料率を引き下げるとしても何%にするべきか根拠が乏しい。

2. 激変緩和措置について

- 激変緩和措置は予定通り、平成30年度は1.4/10引き上げて、7.2/10とし、31年度末で解消することで問題ない。

3. 保険料率の変更時期について

- 保険料率の変更時期は平成30年4月で問題ない。